

本報告書の全部又は一部の無断転載転用を固くお断りします。		KAKEN		No. OS-19-041587-8R(1)	
試験報告書					
依頼者名：Salute. Lab 株式会社 殿 試験項目：抗ウイルス性					
2019年9月27日付で当所に提出された試料の試験結果は、下記の通りです。		カケン 〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号 一般財団法人 カケンテストセンター 大阪事業所 生物ラボ Tel(06)-6441-0399 Fax(06)-6441-6803			
2019年10月24日					
記					
試験結果：					
1. 試料の種類・名称等					
① イオニアミスト					
2. 対照試験および抗ウイルス性試験					
2.1 A型インフルエンザウイルス					
試験No.	前処理等	対照試験	洗い出し液の細胞毒性の有無	洗い出し液へのウイルスの添加回収試験	抗ウイルス性試験
①	原品	無	1.85	0.7	不成立
標準布(綿100%、白布)		無	2.58		
		接種直後のウイルス力価(PFU/試験片)の常用対数:log(Va)		6.92	
		1時間静置後のウイルス力価(PFU/試験片)の常用対数:log(Vb)		6.50	
		減少値:M(試験成立条件:減少値≤1.0)		0.4(成立)	
		接種ウイルス液のウイルス力価(PFU/mL)		4.8E+07	
本報告書に記載の試験結果は提示試料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を報告するものではありません。事業所未印のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し上げます。					
確認作成					

A型インフルエンザウイルスの 抗ウイルス性試験（カケンテストセンターにて実施）

試験方法：JIS L 1922:2016(ISO 18184:2014、準用)、準用

通常は接触時間が2時間の試験を、**1時間に短縮して実施**

ウイルス力価の定量方法：ブランク法

試験で使用したウイルスの種類[宿主細胞]：A型インフルエンザウイルス（H3N2）ATCC VR-1679
[MDCK細胞 ATCC CCL-34]

1時間試験でもウイルスの不活化は下記のように確認されたが、酸化作用が高いため、同時に**宿主細胞まで分解してしまい、試験としては不成立**という結果になりました。

イオニアミスト 検証試験	(常用対数表示)		(理論上のウイルス数 【=10 ^{log(V)} 】)		理論上の ウイルス減少率
	接種直後	1時間静置後	接種直後	1時間静置後	
A型 インフルエンザ ウイルス力価	log(Va)=6.92	log(Vb)=2.30	8,317,638	200	99.997 %